



R7. 8. 1 発行

梅雨も明け夏本番！プール活動が始まり、子どもたちは始めは支度をする際に水着の着方がわからなかったり、プールに持っていく持ち物を忘れてしまったり等、戸惑う表情を見せていました。また、わからないことがあると、自分では考えずに一つひとつを保育者に聞くなど、なかなか準備が進みませんでした。そこで周りの友達の様子を見て考えてみる、友達に聞いてみるように伝え、自分で考えて動けるように声をかけていきました。繰り返していくと、わからないことを保育者に聞く前に周りの様子を見て考えたり、友達に聞いたり子どもたちが自分で考えて行動するようになってきています。中には、困っている友達を見つけると「次は〇〇するよ」「こっちに行くんだよ」等と声をかけてくれる子も出てきました。水着の着替えについては、どのような順番で行えばスムーズに出来るのか、着替え方のコツをつかんできて自分で出来るようになってきています。また、安全にプールに入るために、「①人を押したり人の上に乗らない。②保育者の話をよく聞く。」という約束をしています。楽しくなると気持ちが高揚して周りが見えなくなってしまう子や保育者の声が聞こえなくなってしまう子がまだ多くいます。周りの様子に気づけるようにしたり約束を繰り返し伝えながら楽しくプール遊びをしていこうと思います。水に顔をつけると「できた！」と嬉しそうにしており、子ども達はプール遊びをすると「冷たい！」「楽しい」と喜んでいます。

<今月のねらい>

- ・暑い夏をゆっくり過ごす。

活動予定：プール遊び、水遊び、製作（絵の具、ハサミ、折り紙など）
サーキットあそび、コーディネーショントレーニングなど

